

奈良文化女子短期大学 幼小接続ワーキンググループ合同研究会
第35回 議事録

1 日 時 平成24年4月21日(土) 11:00~12:30

2 場 所 奈良文化女子短期大学 本館 5階(第1演習室)

3 参加者 20名

4 内 容

(1) はじめに

参加者自己紹介

平成23年度から継続 7名

前田、大山、定、瀬角、木戸、南、阪本

新規参加者 5名

葛和正則(奈良市教育委員会)

浅井育代(生駒市教育委員会)

坂本理恵(池田市立さくら幼稚園)

高 美津穂(生駒市立真弓小学校)

松田輝子(香芝市立下田幼稚園)

学生参加者 4名(秋月、吉田、金本、山口)

本学事務局 4名 善野、恒岡、水町、宮越

(2) 2011 「子どもの育ちと学びをつなぐⅡ～幼小連携WG合同研究会の取り組みを通して～」の発刊について、善野教授から執筆協力の御礼と内容紹介、さらに2012年度から本研究会の名称が変更になったことについて改めて紹介

(3) 幼小接続に関して、「入学後の子どもの戸惑い」から解決する幼小接続カリキュラムについて善野教授のミニ講演及び情報提供

① 研究の背景

幼小の教育目標の連続性・・・一貫性の図られたもの

幼小接続カリキュラムの作成・・・目標達成のツールであり、子どもの育ちと学びの連続を保障するもの

② 研究の目的

- ・ 入学後の子どもの戸惑い解決の手立て及び構成要素を明らかにする。
- ・ 「入学後の子どもの戸惑い」から解決する幼小接続カリキュラムを作成する
- ・ 汎用性のあるカリキュラム作成を通して、教職員の資質向上に資する

③ 研究の方法

- ・ OJT研修方式で
- ・ 新たな研究組織体制の構築のもとで
- ・ 幼小接続カリキュラム作成では

学びの基礎力「知・徳・体」が小学校に活かされるものに
入学後の「とまどい」の解決に役立つものに

- (4) 接続カリキュラム4月作成版の改訂及び指導案作成
幼小混合グループでのワークショップ（4～5名の3グループ）

【活動目標】

幼小混合グループ少人数の意見交換によって、双方の教育課程の理解と改善に役立てる。小学校での指導を容易くすることを目的とした幼小接続カリキュラムではなく、就学後に子どもの育ちと学びがつながるためには、どのようなカリキュラムの改善が必要か幼児教育と小学校以降の教育に関わる者が共に検討して、週案・日案レベルまで作成していく。

【ワークショップ1】

入学後の子どもの戸惑いの抽出

活動カテゴリーを軸として、幼小混合のグループに分かれて協議

とまどい要因6項目（時間・空間・人間・モノ・技能・心情）をもとにKJ法で分類し、それぞれの内容について発表、協議

【ワークショップ2】

「とまどいマトリクス」の作成

ワークショップ時の教授からの全体指導及び助言

「困ったことが自分で言えない」という事例をもとに、「人間」と「技能」だけの要因でない「空間」という要因も挙げられることを児童のスクール形式の座り方から机を取り張った円座型の座り方を例に助言。また、分類過程でとまどいへの対応の話し合いのベースとなり、汎用性のあるカリキュラム作成につながることにについて指導。

全体報告（3グループから）

① 報告者 南先生

- 事例「授業中に多くの子がトイレに立つ」「水筒の茶を勝手に飲みに席を立つ」から、幼稚園での生活スタイルや習慣が小学校の新学期の今の時期に現象として出ている。

[教授からの指導助言]

指示の仕方を考えていく必要があり、言葉掛けの工夫が大切。

② 報告者 葛和先生

- 事例「給食・登下校場面でのマトリクス上の分類作業」から、知・徳・体のいずれにも該当する要因が出され、分類の難しさを感じた。

[教授からの指導助言]

作業を通じて複数のとまどい要因にまたがることを話し合うことが大切。校区特性があっても汎用性のある力として子どもに育てる幼稚園カリキュラムを作成することが大切。

③ 報告者 大山先生

- 事例「道具の片付け場面でのとまどい」「小学校に男の先生がいることへのとまどい」から、子どもや保護者との安心感・信頼感につながるフェース・ツー・フェースの関係が大切であると話し合った。

[教授からの指導助言]

1 日体験と入学後の適応レベルをカリキュラム上に位置付けられればよい。

(5) まとめ（教授から）

- ① 幼児教育、小学校教育に携わる者が、入学後の学びの基礎力をつないでいくために、マトリクス作業に取り組んだ。その作業を通して、生活環境や学習内容を互いに知る機会となった。
- ② 子どもの質、集団の特性が異なる中で、入学後の適応指導の内容と方法が、今年度版接続カリキュラムとして活用され、毎年度改訂されていくことが大切である。

(6) 参加学生の感想

本日はお誘いくださり、ありがとうございました。授業があり途中から参加させてもらいましたが、幼小接続の大切さが今回のグループワークでよく理解できました。保育者になるから幼稚園・保育園だけの保育をするだけでなく、小学校の先生方としっかりと連携をとって子どもたちが安心して楽しく学校に行ける学校づくりに保育者も協力していく必要性が感じられました。知・徳・体は保育だけでなく小学校でも使えるということ、また園方針などに活用するだけでなく、様々な面で必要だということが今回のグループワークで一つ自分自身理解できた部分だと思いました。普段お話を聞くことができない方からたくさんお話を聞くことができたことを、自分が将来保育者になって活用できるようになりたいと思います。本日は貴重な体験をさせていただきありがとうございました。次回も参加させていただきたいと思っております。（2回生）

情報交換をし、解決策を考えて取り入れられる素晴らしい研究会だと思いました。善野先生のお話が、簡潔で理解しやすく、価値ある 90 分でした。研究会では、講演してくださった先生、市の方や幼小の先生、本校の先生や事務局の方、先輩、いろんな方との出会いがあり、お話をできて、それも収穫でした。特に、先輩の経験談やアドバイスはとてもためになり、他の方にも伝えて広がっていったらいいなと思います。ありがとうございました。（1回生）

5 次回の予定

平成 24 年 5 月 19 日（土） 11:00～12:30

※ 毎月定例は、第 3 土曜 11:00～12:30